



# 2017 学校要覧

## 学校法人 日本体育大学 日本体育大学附属高等支援学校

〒093-0045 北海道網走市大曲1丁目6番1号

TEL 0152-67-9141 FAX 0152-67-9142

URL; <http://www.s-nittai.ed.jp>

E-mail; [fuzoku.info@s-nittai.ed.jp](mailto:fuzoku.info@s-nittai.ed.jp)



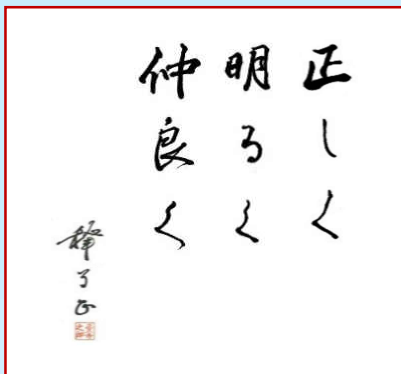
ここからはじまる



**NITTAIDAI**

# 1 校 訓

我らは 与えられたこの命に  
 無窮の価値を創造し  
 一日一日を喜びと精進をもって  
 正しく 明るく 仲良く  
 生きていくことを誓う

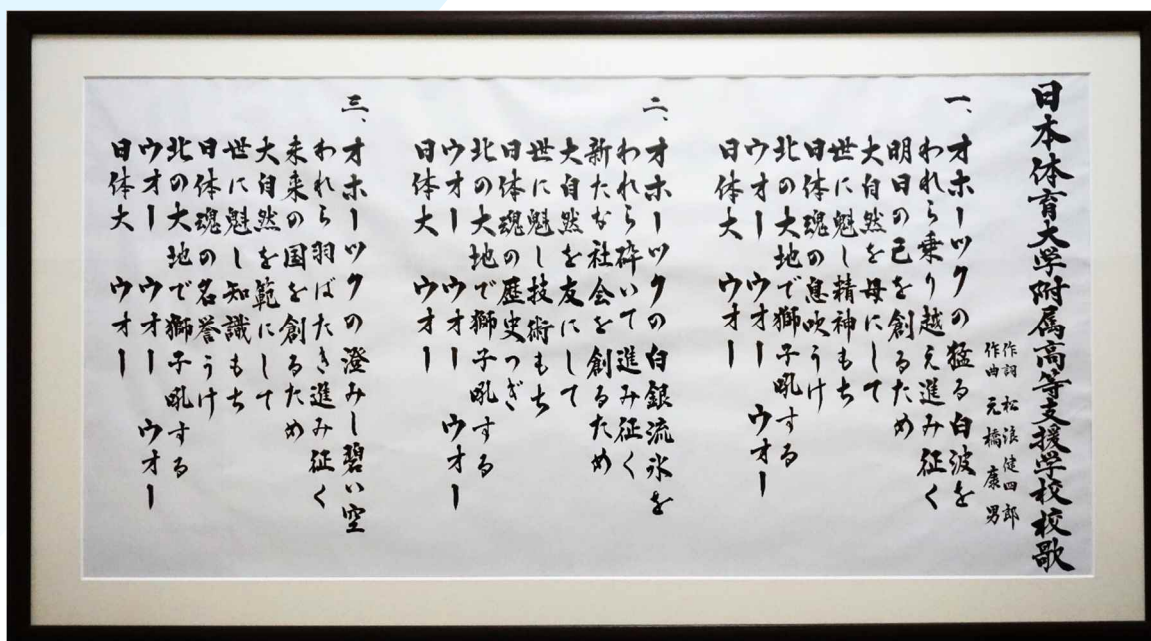


# 2 校 章

1955年に制定した日本体育大学のシンボルマーク。六つの花弁を持った花桜でデザインされ、中央の三つの花弁は体育大学のTをあらわし、背後の三つの花弁はそれを支える同窓、保護者、社会をあらわしている。本校は、日本体育大学の附属校としてこのシンボルマークの中央に高等支援学校を示す「高」を配した。



# 3 校 歌



## 4 学校概要

学校所在地	北海道網走市大曲1丁目6番1号 女満別空港よりバスで約25分（バス停より徒歩5分） 網走駅よりバスで10分（約2km）
教育施設	(1) 寄 宿 舎 (2) 校 舎 旧網走高等技術専門学院・能力開発センター (3) グラウンド (4) 屋内走路 (5) 校外実習場 網走湖畔園地（借地農地） (6) 園芸用地 校地内
生徒数	1学年男子40名 定員120名
対象となる生徒	知的障がいがあり、運動、スポーツに興味関心がある生徒 ※知的障がいがあるとは ○医師の診断がある、又は、公的な専門機関において知的障がいと判断される ○療育手帳を取得している（取得見込みを含む）

## 5 沿革

### 日本体育大学の新たな挑戦（共生社会の実現に向けて）

2014年 学校法人日本体育大学 理事会決定

創立125周年を迎えた学校法人日本体育大学は建学の精神「體育富強之基」を掲げ全国に体育・スポーツ指導者を輩出してまいりました。

スポーツ文化や国民の体力向上にくわえ人々に希望と勇気を与えてきたことも日体大の誇りでもあります。

平成26年度からは「医療も日体大のフィールド」とし保健医療学部を設置しました。

一方、スポーツ基本法が施行され障がい者のスポーツ教育の必要性も生じ日体大は附属高等支援学校を世に先駆けて設置することになりました。スポーツ教育を基軸に労作（農業）教育と情操（芸術）教育を行う個性的な学校です。共生社会への新たな日体大の挑戦であります。

- 2012. 8. 8 網走市、学校法人日本体育大学訪問・候補地提案
- 2013. 2. 22 学校法人日本体育大学理事・評議員会で、特別支援学校高等部の創設計画決定
- 2013. 4. 1 網走市及び学校法人日本体育大学に準備室を設置（開校事務開始）
- 2014. 4. 7 学校法人日本体育大学「北海道学園」（仮称）網走事務所開設
- 2015. 4. 1 東急建設・早水組工事着工
- 2016. 5. 30 竣工式挙行〔校舎・寄宿舍完成・内覧会の実施〕
- 2016. 6. 20 北海道知事認可〔日本体育大学附属高等支援学校に校名決定〕
- 2017. 4. 1 日本体育大学附属高等支援学校開校



## 6 学校経営方針

### (1) 学校教育目標

「自らの無限の可能性を信じ、たくましく (学び) 生きる」

- ・健やかな身体を育み、思いやりのある心の育成
- ・働くことを学び、自立しようとする意欲の育成
- ・豊かな感性を育み、社会生活を送る資質の育成

### (2) 学校教育目標を達成するための基本方針

- ①生徒一人一人の人権を尊重し、生徒の特性等に配慮した専門的な教育を推進する。
- ②スポーツ教育を主軸とした教育をとおり、健やかな体と心を育む。
- ③生徒の進学・就労に必要な資質・能力を最大限引き出し、地域社会で自立した生活を送る意欲・態度を養う。
- ④健康で豊かな人間性を育み、潤いのある社会生活を送るための知識・技能・態度を育成する。

### (3) 学校教育目標を達成するための経営方針

- ①生徒の自己実現を目指し、教職員と保護者が密接に連携した学校づくりを推進する。
- ②生徒の教育的ニーズを的確に把握し指導するため、組織的な学校運営を推進する。
- ③地域資源を活用した教育活動や生徒間の交流及び共同学習を推進する。
- ④行政、福祉及び医療等各関係機関と連携し、効果的な運営と指導の充実に努める。
- ⑤特別支援教育の専門性を高め、保護者及び地域から信頼される学校づくりを推進する。
- ⑥知的障がい者スポーツ教育の先駆的役割を果たすために、計画的・実践的な指導を推進する。

### (4) 学校教育目標を達成するための指導の重点

- ①生徒の能力・特性に応じ、教育課程の編成・実施・評価及び改善に努める。
- ②生徒の学習及び生活上の困難さを支える指導の充実に努める。
- ③自ら学び、行動しようとする意欲を培い、生きる力の基礎となる学習指導の充実に努める。
- ④生徒の課題に応じた実践的生活スキルや社会性を高める寄宿舎教育の充実に努める。

### (5) 初年度の重点課題

「学校を創造する誇りと喜びを持ち、すべては生徒のために邁進する」

校長  
島崎 洋二



**挑 戦 !**

オホーツクの大地で **獅子吼**する！  
ほ え ろ  
し し く

自然に恵まれた地の利を利用して  
心躍る体験を作り出し  
豊かな人間性を育む

日本体育大学附属高等支援学校は  
地域との関わりを大切にする開かれた学校づくりを  
目指します

## 地域社会で生きるチカラを培う【3つの柱】



**スポーツ教育**

体育、部活動  
を通して  
たくましい体と  
健やかな心を育む



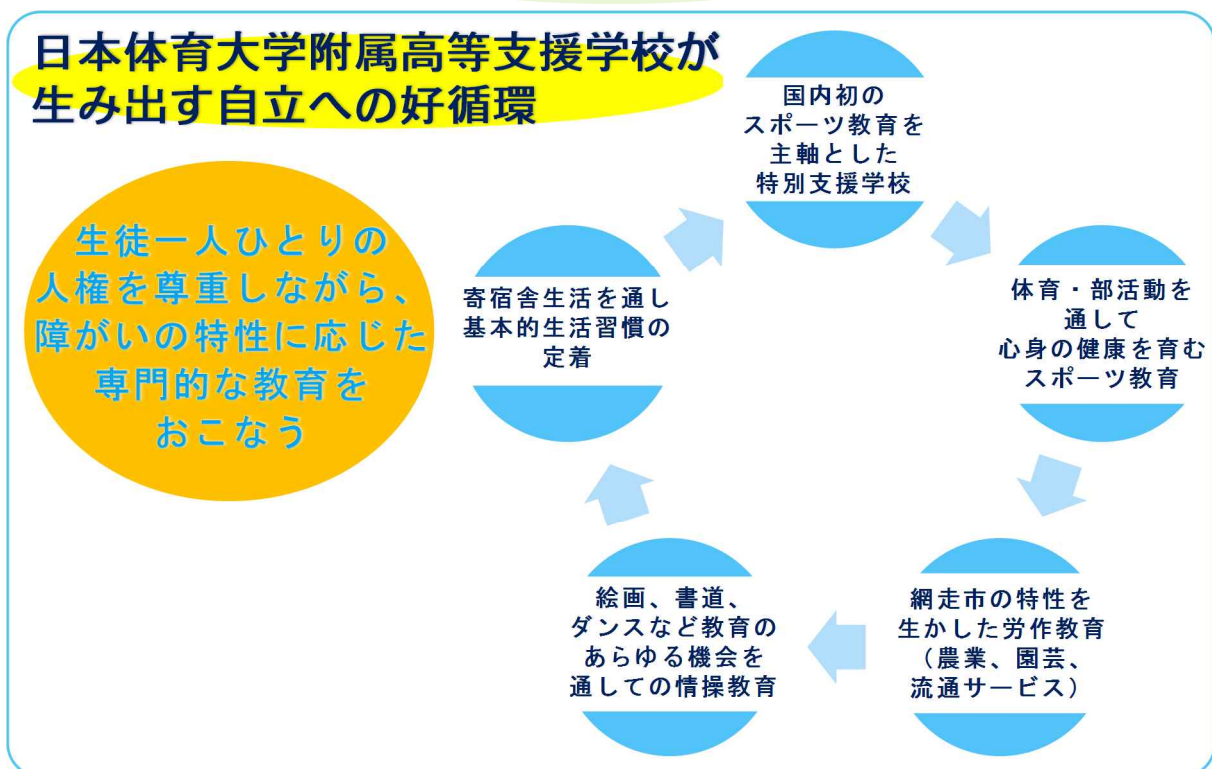
**労作教育**

作業学習、就労実習  
を通して  
働くことの  
楽しさ尊さを培う



**情操教育**

芸術、ダンスなど  
様々な学習を通して  
豊かな感性を養う



## 8 年間授業計画・行事予定

前期	4月17日～9月28日	入学式・始業式 (4月17日) 夏季休業 (7月24日～8月20日) 終業式 (9月28日)
後期	10月2日～3月23日	始業式 (10月2日) 開校式 (11月19日) 冬季休業 (12月22日～1月14日) 終業式 (3月23日)

## 9 在籍生徒数・学級編成

(1) 学級編成 (普通科・1学年定員男子40名)

		在籍数	全校計 19名 (2学級)
1学年	1組	10名	
	2組	9名	
	学年計	19名	

(2) 通学形態・住居地別生徒数

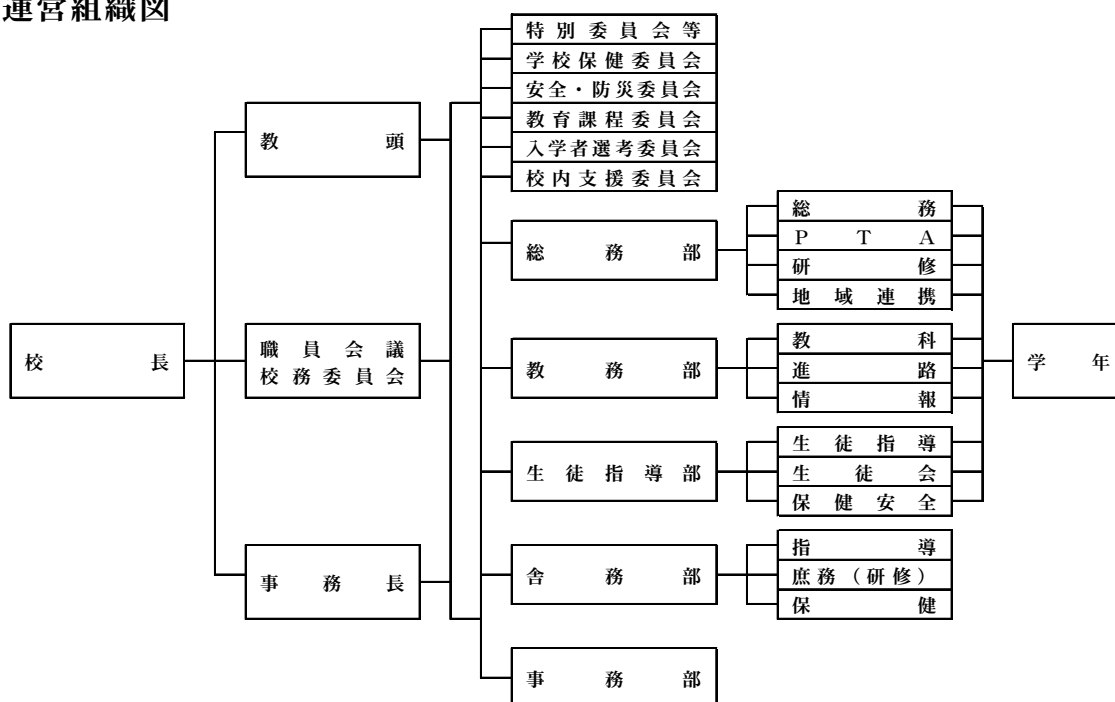
通学形態		住居地別		
自宅通学	2名	北海道	管内	7名
寄宿舎	17名		管外	3名
		埼玉県	1名	
		千葉県	2名	
		東京都	3名	
		神奈川県	1名	
		長野県	1名	
		愛知県	1名	



## 10 職員構成

教育職						行政職		合計	学校医等		
校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	寄宿舎指導員	事務長	事務職員		学校医	学校歯科医	学校薬剤師
1	1	14	1	1	14	1	2	35	1	1	1

## 11 運営組織図



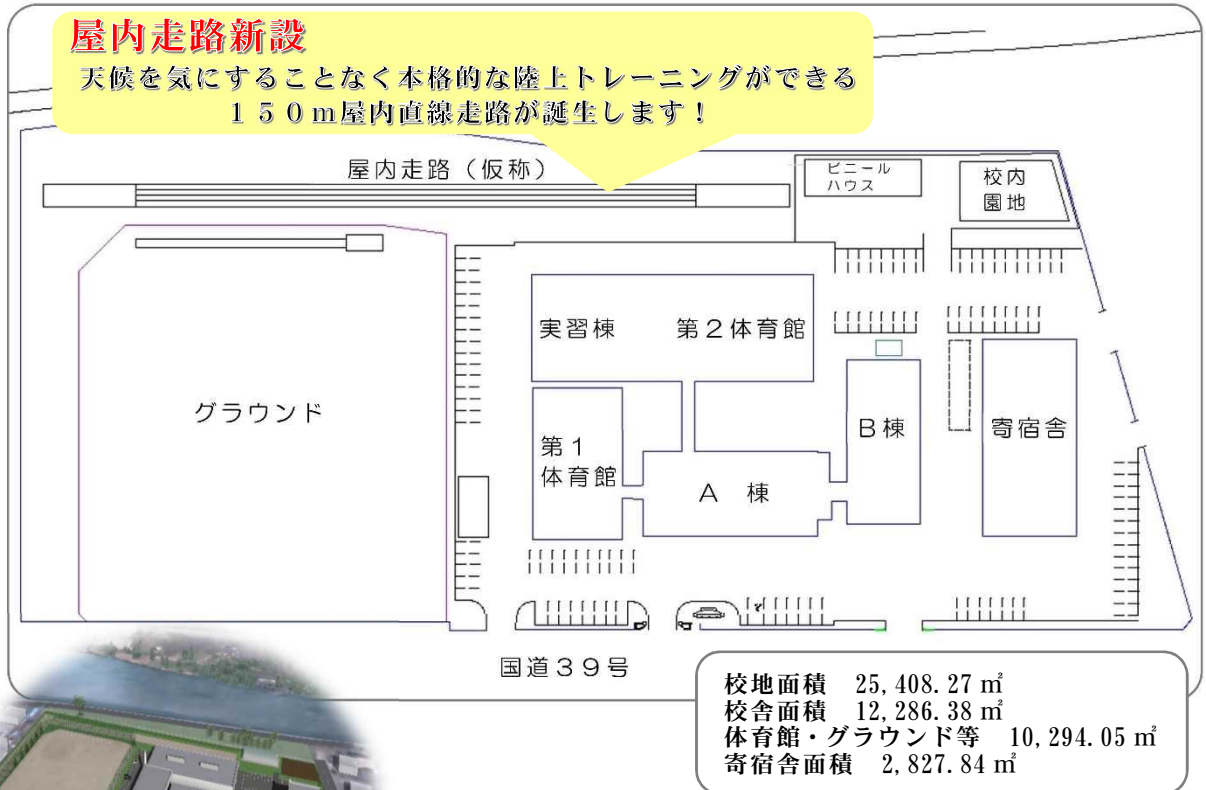
## 12 日課表

6 時間授業日課		
S HR	○本日の日程の確認 ○HR 教室にて読書の取り組み	8 : 4 0 ~ 8 : 5 0
1 校時	○自立活動 ○特別活動 ○自立学習 ○数学 ○英語 ○芸術 ○情報	9 : 0 0 ~ 9 : 4 0
2 校時		9 : 5 0 ~ 1 0 : 3 0
3 校時	○作業学習 (農業、園芸、環境・流通サービス、木工、家庭)	1 0 : 4 0 ~ 1 1 : 2 0
4 校時		1 1 : 3 0 ~ 1 2 : 1 0
給 食 ・ 休 憩		1 2 : 2 0 ~ 1 3 : 1 0
清 掃		1 3 : 2 0 ~ 1 3 : 4 0
S HR	○明日の日程の確認	1 3 : 4 0 ~ 1 3 : 5 0
5 校時	○保健体育	1 4 : 0 0 ~ 1 4 : 4 0
6 校時		1 4 : 5 0 ~ 1 5 : 3 0
放課後	○部活動	~ 1 7 : 0 0

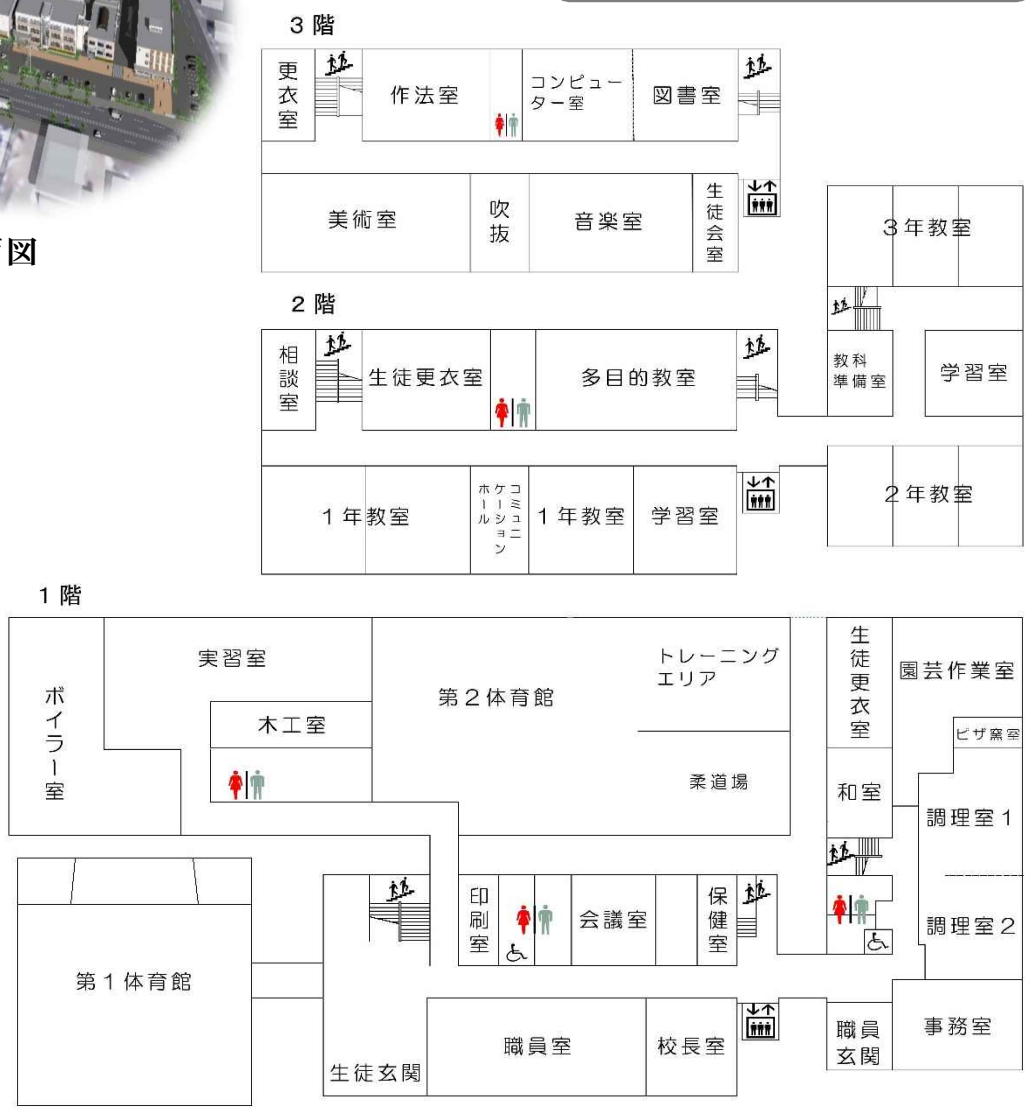
5 時間授業日課		
5 校時	○総合的な学習の時間	1 3 : 2 0 ~ 1 4 : 0 0
清 掃		1 4 : 1 0 ~ 1 4 : 3 0
S HR	○明日の日程の確認	1 4 : 3 0 ~ 1 4 : 4 0
放課後	○部活動	~ 1 6 : 0 0



### 13 校舎配置図

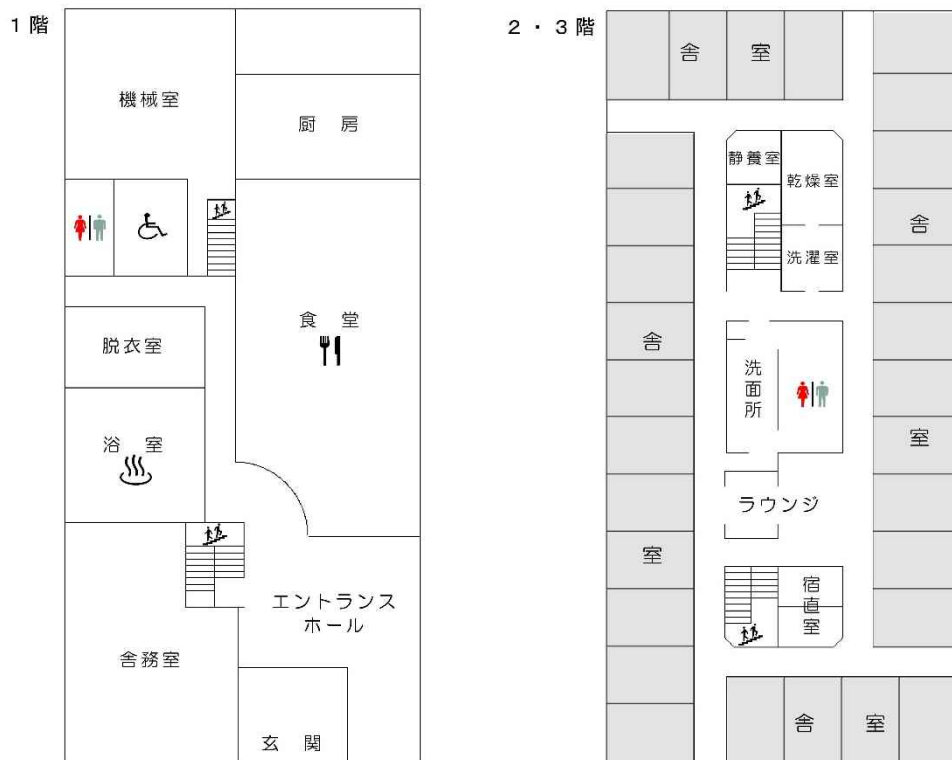


### 14 校舎平面図





# 15 寄宿舍平面図



## 寄宿舍日課

- 6 : 3 0 ~ 起床 (布団たたみ、歯磨き、洗面、着替え、洗濯物取り込み)
- 7 : 0 0 ~ 部屋の清掃 (モップ掃除、拭き掃除、ゴミ捨て)
- 7 : 2 0 ~ 朝食準備 (配膳当番が準備)
- 7 : 3 0 ~ 朝食
- 8 : 0 0 ~ 登校準備
- 8 : 3 0 ~ 登校 (土日、祝日は部活又は自由時間)
- 8 : 4 0 ~ 学校授業
- 1 2 : 1 0 ~ 昼食準備
- 1 2 : 2 0 ~ 昼食
- 1 3 : 1 0 ~ 学校授業 (土日、祝日は部活又は自由時間)
- 1 5 : 3 5 ~ 下校
- 1 7 : 0 0 ~ 部活終了後下校 (入浴、洗濯)
- 1 7 : 5 0 ~ 夕食準備 (配膳当番が準備)
- 1 8 : 0 0 ~ 夕食
- 1 8 : 3 0 ~ 歯磨き、区域清掃 (廊下、浴室、食堂、玄関など)
- 1 9 : 0 0 ~ 自由時間
- 2 1 : 0 0 ~ 学習時間 (宿題、読書、明日の準備など)
- 2 1 : 3 0 ~ 就寝準備・消灯 (歯磨き、洗面、着替え)
- 2 2 : 0 0 ~ 就寝

寄宿舍名



ゆうこんしゃ



本校は知的障がいのある男子高校生を対象とした学校です。

本校へ興味・関心のある皆様を対象とした様々な進学相談を随時行っております。お気軽にお問い合わせ下さい。

電話相談

学習相談

進路相談

学校見学

発達相談

ご要望にお答えしながら、様々な相談の機会を設けております。  
本校はいろいろなことに挑戦し、得意なことを増やす教育を行っています。

## 入学をご希望のみなさんへ 教育相談のご案内

本校を受検するにあたっては、事前に「教育相談」を受けるようお願いします。  
生徒・保護者の皆さんが本校に実際訪れ、施設や環境を目で見て、肌で感じ、受検の判断をしてください。

- ☆ 平成30年度入学者選考検査を受検予定の生徒を対象とします。
- ☆ 教育相談は随時受け付けます。
- ☆ 【受付電話番号 0152-67-9141 教育相談担当 まで】
- ☆ 場所は原則として本校(日本体育大学附属高等支援学校)にて行います。
- ☆ 入学希望生徒とその保護者を基本とし、在籍校の担任等が同伴することも可能です。

本校に関する最新の情報は  
ホームページをご覧ください

日体大附属

検索

<http://www.s-nittai.ed.jp>



# 入学選考検査のご案内

出願期間	11月 9日(木)～11月22日(火)
選考検査日	【東京会場・日本体育大学 東京・世田谷キャンパス】 12月 1日(金)・ 2日(土) 【網走会場・日本体育大学附属高等支援学校】 12月 8日(金)・ 9日(土) ※どちらか都合のよい日を選択できます。
検査内容	行動観察、適性・運動検査及び保護者面談
合格発表	12月15日(金) 10:00 本人および在籍学校への通知、本校玄関掲示、Web発表

詳細は別途『入学募集要項』で確認願います。

## 公立学校との併願や合格発表後でも出願できます

本校の入学選考は公立学校と試験日が異なりますので、本校と公立学校の両方を受験し、合格発表後にどちらに進学をするか選ぶことができます。公立特別支援学校の合格発表日以降でも受験することが可能です。(追加募集がある場合)

## スポーツ奨学生を募集しています (日本財団パラアスリート奨学金制度)

日本体育大学グループ校に在学するスポーツの技能や実績に秀でた生徒、将来スポーツの分野で活躍が期待される生徒を対象とした奨学金制度です。入学金や授業料、スポーツ用具費、遠征費、生活費の一切が卒業するまで給付され、返還不要の制度です。詳しい内容は個別の対応となりますので、直接お問い合わせ下さい。

## スポーツ教育を通じて 日本体育大学への進学が可能

本校で、障がい者スポーツやパラアスリートを目指し、運動の基礎を学び、スポーツに秀でた生徒は、日本体育大学に進学することが可能です。

特別支援学校卒業後の進学受け入れをしている大学は全国でも広がりつつありますが、文部科学省の調べでは特別支援学校高等部(知的)の卒業生の進学率は0.5%程度と発表されています。

また、日本体育大学では来春より本校を実習校に定め、特別支援学校教諭免許状の取得が可能となりました。

# 交通アクセス

## 都市間のアクセス

鉄道	札幌～網走(特急オホーツク) 1日4便 所要時間 札幌～網走 約5時間30分 旭川～網走 約3時間50分
市内バス	大曲行き 網走駅～大曲 約7分
航空機	千歳～女満別 約45分 1日7便 羽田～女満別 約105分 1日5便 中部～女満別 約115分 1日1便 関西～女満別 約125分 1日1便(夏季のみ)
空港線バス	網走行き 女満別空港～市営住宅前 約20分
都市間バス	札幌～網走 1日9便 所要時間 5時間50分



主要都市から  
女満別空港までは  
直行便が  
出ています！



女満別空港からは、車で約**20分**！  
国道39号を北上して、  
大曲交差点を左折したら  
学校はすぐそこ！